



平成18年11月2日

各 位

会 社 名 日本道路株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長  
原 毅  
コード番号 1884 (東証第一部)  
問 合 せ 先 取締役 常務執行役員 経理部長  
坂 本 義 次  
TEL (03) 3571 - 4051

## 特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社連結子会社の業務遂行の過程で生じた損害の発生が見込まれ、当社および連結子会社において特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせいたしますとともに、最近の業績動向等を踏まえ、平成18年5月18日の決算発表時に公表いたしました平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の中間期・通期業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の発生およびその内容

連結子会社であるエヌ・ディー・リースアンドサービス株式会社（所在地 東京都港区西新橋2丁目11番9号）と業務提携先であった代理店との取引に関し、当該代理店の債務不履行等の事実が判明しましたので、エヌ・ディー・リースアンドサービス株式会社は、その代理店に関連する債権等の回収可能性を個別に精査し、貸倒引当金繰入額14億円を特別損失に計上する予定であります。

また、当社におきましては、エヌ・ディー・リースアンドサービス株式会社をはじめ連結子会社に対する債権等の回収可能性を個別に精査し関係会社株式評価損・関係会社事業損失引当金繰入額8億円、および貸倒引当金繰入額90百万円を特別損失に計上する予定であります。

#### 2. 平成19年3月期 連結中間業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成18年5月18日発表)	44,000	△ 2,000	△ 1,700
今 回 修 正 予 想 ( B )	46,000	△ 1,900	△ 2,800
増 減 額 ( B - A )	2,000	100	△ 1,100
増 減 率 ( % )	4.5	—	—
前 期 実 績 (平成18年3月中間期)	44,164	△ 2,173	△ 1,895

3. 平成19年3月期 個別中間業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A） （平成18年5月18日発表）	38,000	△ 1,900	△ 1,600
今回修正予想（B）	41,000	△ 1,700	△ 2,100
増減額（B－A）	3,000	200	△ 500
増減率（％）	7.9	－	－
前期実績 （平成18年3月中間期）	39,405	△ 1,950	△ 1,768

4. 平成19年3月期 連結業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成18年5月18日発表）	138,000	1,700	600
今回修正予想（B）	140,000	1,800	△ 700
増減額（B－A）	2,000	100	△ 1,300
増減率（％）	1.4	5.9	－
前期実績（平成18年3月期）	136,687	1,914	855

5. 平成19年3月期 個別業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成18年5月18日発表）	122,000	1,400	500
今回修正予想（B）	125,000	1,600	△ 200
増減額（B－A）	3,000	200	△ 700
増減率（％）	2.5	14.3	－
前期実績（平成18年3月期）	121,636	1,700	256

## 6. 理 由

公共事業の縮減が継続する厳しい経営環境の中で、当社は技術力を武器にした直接受注の拡大、民間企業に対する営業推進、小規模工事の受注促進等を積極的に取り組みました結果、平成19年3月期の中間期（連結・個別）、通期（連結・個別）の売上高および経常利益は前回公表予想額をやや上回る見込みであります。

### 中間期・通期

#### （1）連結

上記貸倒引当金繰入額14億円を特別損失に計上する予定であり、前回公表いたしました連結業績予想が、中間期は中間純損失17億円から28億円に、通期は当期純利益6億円から当期純損失7億円となる見込みであります。

#### （2）個別

上記関係会社株式評価損・関係会社事業損失引当金繰入額8億円、および貸倒引当金繰入額90百万円を特別損失に計上する予定であり、前回公表いたしました業績予想が、中間期は中間純損失16億円から21億円に、通期は当期純利益5億円から当期純損失2億円となる見込みであります。

（注）上記予想数値は、本資料の公表日現在において把握できた情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により異なる結果となることがあります。

以 上